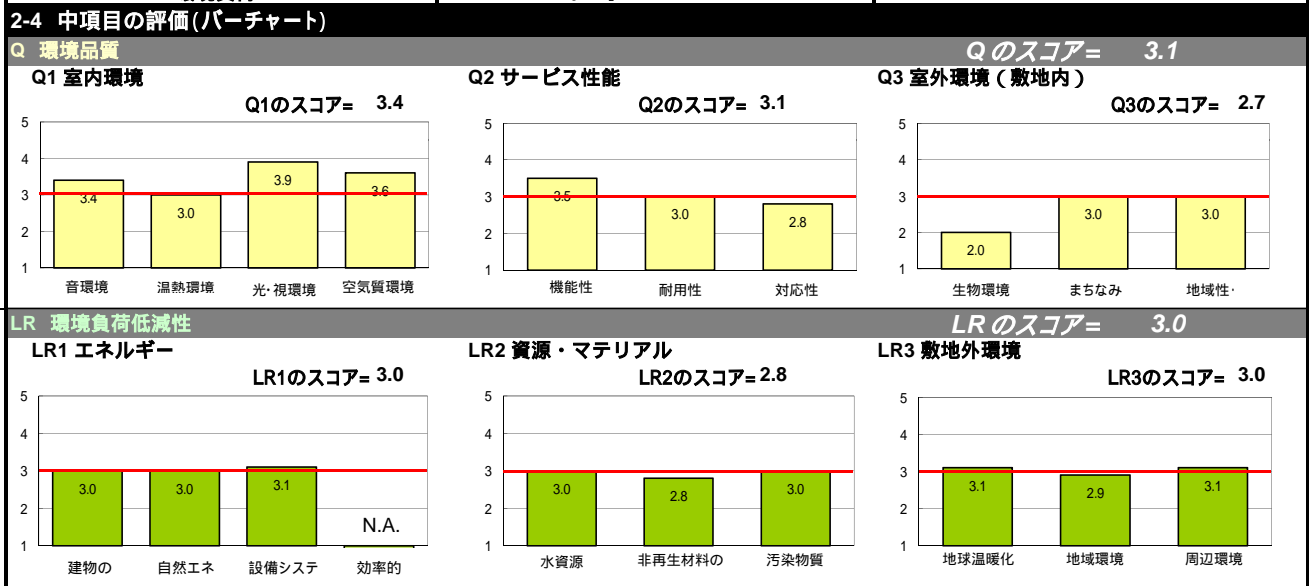
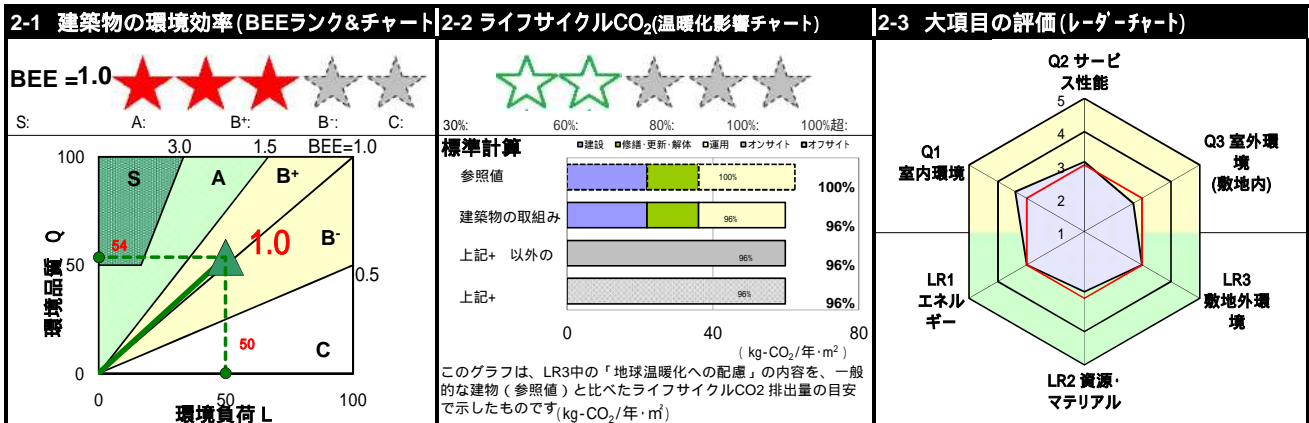


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)座間市相模が丘計画	階数	地上12F
建設地	座間市相模が丘5丁目 438-1ほか	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	90 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2014年12月15日
敷地面積	492 m ²	作成者	グラビス設計
建築面積	255 m ²	確認日	2014年12月15日
延床面積	2,304 m ²	確認者	グラビス設計

外観/バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合	周辺の住環境に配慮しながら、環境負荷の軽減に努める	その他 0
Q1 室内環境	防音性能を高め、室内の防音化に努める	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に極力空地を確保し、共用部分にゆとりを持たせる
LR1 エネルギー	住戸内の断熱性能を高め、建物の断熱化を図る	LR3 敷地外環境 外部照明の増設に努め、防犯活動に協力する
Q2 サービス性能	バリアフリーに配慮し、建物の使いやすさを高める	
LR2 資源・マテリアル	解体時のリサイクルに配慮し、躯体と仕上材が容易に分別可能な納まりとした	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される